

平成 18 年度 情報工学コース卒業研究報告要旨

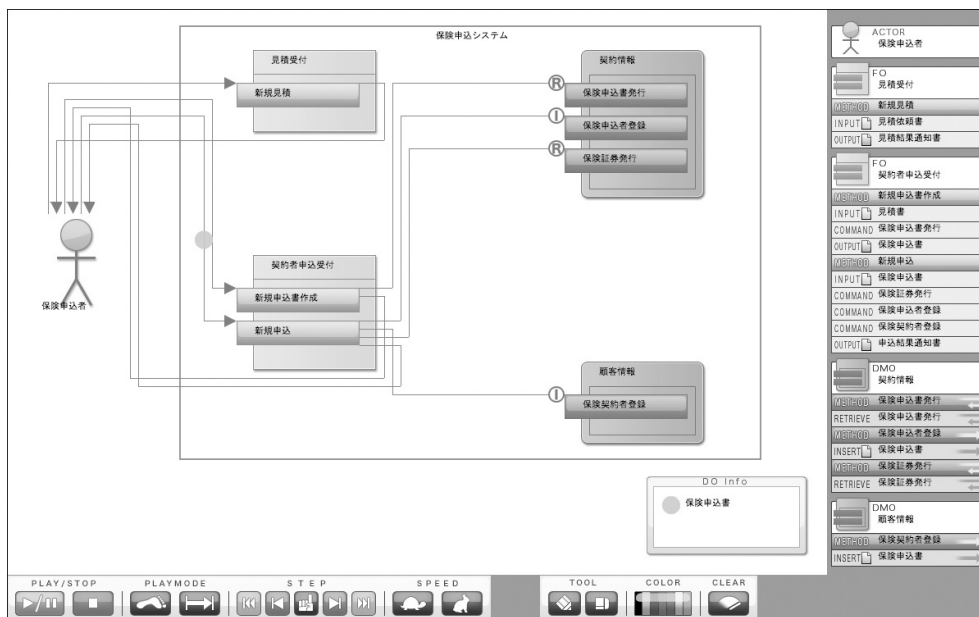
阿草 研究室	氏 名	市 川 昌 太
卒業研究題目	RBO アニメーションを用いた要求獲得支援	

本研究報告では、ビジネスシステム（以降、単にシステムと略す）の業務プロセスを記述する RBO（Real Business Object）図に動的な表現を適用した RBO アニメーションによる要求獲得支援手法を提案する。

システム開発において、要求を引き出す要求獲得は顧客が真に求めるシステムを開発するための重要なプロセスである。要求獲得では、開発者がシステム案を顧客に対して提示し、顧客の求める機能を満たしているかについて顧客と開発者の間で相互理解を得ることにより要求を引き出す。相互理解を図る方法として、従来はプロトタイプやシステムの図表現等が利用されてきた。しかし、プロトタイプは顧客がシステムの動作を直感的に理解可能である一方、開発コストが高価になるという欠点がある。また、ユースケース図やシーケンス図などの図表現を利用する手法は、作成コストをプロトタイプに比べ抑えることが可能となる一方で、図の表記法についての専門知識を持たない顧客には直感的な理解が難しい。このため、顧客と開発者の間でしばしば誤解が生じ、最悪の場合システム開発の手戻りを引き起こす。要求獲得では、従来の図表現程度の作成コストで、直感的にシステムの動作を理解できる手法が必要である。

本研究ではシステムの業務プロセスを記述する RBO 図に動的な表現を適用した RBO アニメーションを提案する。RBO アニメーションは、業務機能間でどのようにデータの受け渡しが行われるかをアニメーションを用いて直感的に表現する。さらに、RBO アニメーションに対して注釈を付ける機能等の利用により、顧客から要求を引き出すためのコミュニケーションを促進する。

実際に要求獲得支援ツールとして RBO アニメーションを自動生成するツールを開発し、評価実験を通じて RBO アニメーションが要求獲得に対して有用であることを確認した。



図：本研究で開発したツールによる RBO アニメーションの出力